



令和6年1月3日17時00分
国土交通省中部地方整備局
応援対策本部

令和6年能登半島地震による被害への 中部地方整備局の対応（第6報） ～被災地の復旧作業を支援するため災害対策車両を派遣～

中部地方整備局は、被災地の復旧作業のため無人化施工バックフォウ及び夜間作業の支援のため照明車（LED灯）を派遣します。

1. 中部地方整備局からの支援車両等

- 無人化施工バックフォウ 1台
- 照明車 5台（LED灯20m級2台、LED灯10m級3台）
- 職員 2名
企画部 施工企画課 建設専門官 長谷川 公政（ハセガワ ヒロマサ）
総務部 人事課 係長 小林 雅弥（コバヤシ マサヤ）

2. 出発式

- 開催場所 中部地方整備局（三の丸庁舎）玄関
名古屋市中区三の丸二丁目5番1号 名古屋合同庁舎第二号館
- 開催日時 1月4日（木） 9時00分頃

3. 派遣先

北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
（石川県金沢市西念4丁目23番5号金沢市西念4丁目23番5号）

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ

5. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局
応援対策本部 広報担当 052-953-8256

< 参考資料 >



無人化施工バックフォウ

○特徴

- ・ 1回に1.0m³の土砂掘削が可能
- ・ リモコンにより遠隔操作が可能
- ・ 遠隔操縦時には、車体に搭載されたカメラにより掘削状況を確認可能
- ・ バケットをつかみ機に交換することにより土砂崩落現場での倒木除去運搬が可能



LED式照明装置 (1.2kW×6灯)

照明車 (LED灯 20m級)

○特徴

- ・ ビル6階 (約20m) の高さから照らすことが可能
- ・ 50m先で新聞を読むことが可能
- ・ 1回の給油で約19時間の連続運転が可能
- ・ アームの先端に取り付けられたカメラで20mの高さから被災状況を確認することが可能

照明車 (LED灯 10m級)

○特徴

- ・ ビル3階 (約10m) の高さから照らすことが可能
- ・ 50m先で新聞を読むことが可能
- ・ 1回の給油で約29時間の連続運転が可能
- ・ ポールの先端に取り付けられたカメラで10mの高さから被災状況を確認することが可能

